



## 社労士のつぶやき(86) パワハラを考える

### ●今野さん

弘兼憲史先生の漫画「島耕作シリーズ」の強烈キャラ・今野輝常さんは仕事はできるが上にはゴマ擦り、下には横柄という嫌なサラリーマンです。1980～90年代の設定ですが、今では考えられないようなセクハラ、パワハラも当たり前で、苦情が殺到しても「チクったのは誰や！」と逆恨みして手がつけられないタイプです。彼の最期はまあ、お読みくだされば。

2022年6月から全面施行されたパワハラ防止法（労働政策総合推進法第9章）は、「優越的な関係を背景に業務の範囲を超えた言動」を禁止し苦情があれば適切な措置を取るよう事業所に義務付けています。今野さんも業務の範囲を超えて人格を否定する言動（アホとかセクハラとか）を繰り返し左遷されました（今では絶対に懲戒処分ですね）。しかし防止法は今野さんのような典型的な「パワハラ上司」しか対処できない仕組みになっています。その上「愛情で（アホと）言っただけ」等々と「ナンボでも言い訳OK」の法律なのです。

### ●同質から多様な職場へ

社労士としての感想ですが、どうも労働に関する法律は大手企業に合わせて作られているとしか思えません。パワハラ防止法も然り。大手は毎年4月に一括で大量採用しますが、彼らは大卒で一斉に社員教育を受ける「同質の人材」であるため、イジメが発生しても「出世競争による足の引っ張り合いサラリーマンの悲哀」として扱われます。またパワハラも、今野さんのように「イヤミな上司」の個人の問題として片づけられてしまいます。しかし今の職場は同質ではありません。まず男女の別があります。漫画ではOL（古っ！）は描かれていても、完全に職場の花扱いで男性より下の階級で社内不倫や愛人の対象としか登場しません。しかし今は女性の活躍なくして企業は成り立ちません。そして正規と非正規さらに外国人もいます。つまり職場は多様化（ダイバーシティ）が進んでいるのです。これまでは今野さんのような「出世のため部下をコキ使う」パワハラが問題でしたが、複雑で多様化した職場の人材を上手くまとめて業績を上げないと誰もが「パワハラ上司」に陥ってしまう可能性があります。そして仕事ができない人や自分の都合で休む同僚へのいじめやハラスメントも増えるでしょう。しかし、防止法は相変わらず同質人材をイメージした「上から下へのパワハラ」だけを対象にしているのです。

皆さんの会社でも、ダイバーシティに対応できる「職場づくり」を目指すことが求められています。

社労士事務所アジュール 高 龍弘

## 燃料カードの価格表【2023年4月分】

### AMSカード ※共通利用可能

油種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	151.0円
ハイオク	161.0円
軽油	133.0円

【価格は税抜】

### ENEOSビジネスカード

油種	ENEOS
レギュラー	152.0円
ハイオク	162.0円
軽油	126.0円

【価格は税抜】

### 全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	146.6～148.6円	148.7～150.7円	147.3～149.3円
ハイオク	156.6～158.6円	158.7～160.7円	157.3～159.3円
軽油	123.0～125.0円	127.2～129.2円	125.4～127.4円

【価格は税抜】

### 全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	ENEOS ウイング'	FLEX & TRUST カード' (Shell)	TRUST & FLEX カード' (出光)	エネクスフリート
レギュラー	146.2～148.2円	148.8～150.8円	149.4～151.4円	144.6～146.6円
ハイオク	156.2～158.2円	158.8～160.8円	159.4～161.4円	154.6～156.6円
軽油	121.1～123.1円	127.3～129.3円	122.6～124.6円	122.6～124.6円

【価格は税抜】